

光彩だより

2018年 夏号 (2018. 8. 6 発行)

- ★就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所 京都市朱雀工房
- ★就労継続支援B型事業所 西山高原工作所
- ★就労継続支援B型事業所 ワークステーションかれん工房
- ★京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」
こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」
- ★グループホーム賀陽、グループホーム山ノ内、グループホーム光
- ★訪問介護ステーション光彩
- ★府庁ゆめこうば
- ★相談支援事業所「こうさい」

《発行》
社会福祉法人 京都光彩の会
(発行責任者／上村啓子)

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30 京都市地域リバビリテーション推進センター 1F
TEL: 075-813-0501 FAX: 075-813-0520
E-MAIL: info@kyoto-kosainokai.jp
URL: http://kyoto-kosainokai.jp

地震、豪雨などの災害対策を強固に

社会福祉法人京都光彩の会
統括施設長 上村啓子

豪雨の後、酷暑ともいいくべき暑さが続いています。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。
6月にあった大阪北部地震、西日本豪雨で被害にあわれた方々には、お見舞い申し上げますとともに一日も早い復興を願っています。

私ども法人の事業所や通所メンバー、ご家族はお陰様で被害はありませんでした。しかし、想定外の状況で、どのように対応してよいかわからず、苦慮いたしました。

地震のときに安否確認の電話をメンバーに入れましたが、携帯電話が通じず、確認できなかつた方がいました。余震があるかもしれない状況で、通常どおり通所されてきたメンバーの安全をどう確保したらよいのか、早めに帰宅を促す方がよいのか。

暴風警報発令時は休所と決めていますが、大雨・洪水警報発令時は休所にはしておらず、メンバーは通所してきており、どうするか悩みました。危険がないように考え、事業所所在地区に非難指示が出た時点で帰宅していただくようにしました。何もなかったからいいもののもっと早く帰っていただいた方がよかったのかもしれません。

災害支援計画を策定はしていますが、見直す必要があります。状況に応じて対策を講じていくことが重要ではないかと思っています。

7月7日に実施を予定していた統合失調症情報ステーション「グリーンカフェ」は、前日に延期することにしました。気象予報から前々日に延期にしてはというご意見を関係者の方からいただいたのですが、統合失調症への対処をさらに良くしていただけるように、理解を広めるためにと実施するグリーンカフェを予定どおり開催したいという思いが強く、決断を延ばしてしまいました。ご参加いただく方の安全が第一ですのに、思いを優先させてしまい、反省しています。

三田市でも精神障害があるとみられる長男を監禁していた事件の報道がありました。そこまで家族が追い詰められていたのでしょうか、精神疾患に対する理解や偏見もその要因の一つのように思います。少しでも理解が得られることを期待して、グリーンカフェは、9月8日（土）に開催いたします。

これからも非常災害時の利用者の安全確保と体制の整備の強化に努めていきたいと思っています。

京都市朱雀工房

● 近況報告

現在の利用者数は、就労移行 6 名、B 型 18 名の計 23 名となっています。4 月以降、1 名の方が就職されています。就労移行利用者募集用に京都市朱雀工房の DVD を作成しています。授産製品を中心夏のボーナスキャンペーンも実施中です。今後もご協力をお願い致します。

● レクリエーション

所外レクでは、3 月 30 日に京都府立植物園で手作りの昼食をもってお花見をしました。6 月 1 日には京都御所を見学し、おやつのオムレットも持って行きました。所内レクでは、DVD 鑑賞会をし、おやつのフルーツケーキ・フルーツパフェを作つて食べました。最近は、レクリエーション実行委員会のメンバーさん中心でお菓子作りに力を入れています。



● 授産製品

新商品【めがねホルダー】を開発しました！めがねのツルを穴に左右それぞれ差し込むだけで簡単に装着できるもので、適度に伸縮する穴なのでどんな太さのフレームでもつけられるものです。

● 就労状況

平成 29 年度から現在にかけて 8 名の方々が就労されています。最近では調理補助として学生食堂に就職された方がいます。2 週間の実習を経ての就労開始で、職場の方の評価も高く、生き生きと勤務されています。就労移行の方だけでなく、B 型の方の中にも積極的に就職活動し、企業実習に臨まれた方もいらっしゃいます。焦らず、継続して就労できる力を持つて頂けるよう支援していき

たいと考えております。

☆就労先

調理補助（ホテル・学生食堂）、部品組立（機器工場）介護補助（高齢者施設）、事務補助（市役所）、配達（飲食店）等、清掃等（京町屋）等

● 説明会（+見学会）

2018 年 2 月以降、月に一度、事業所説明会を開催しております。概ね 3 名前後の方が来所（4 月は 6 名）下さり、当事者の方のほか、区役所や就業・生活支援センターの方など、関係機関の方も参加して下さっています。朱雀工房の活動を理解して頂ける方を少しでも増やしていきたいと考えております。

● 龍谷大学授業のゲストスピーカー

利用者 2 名が、龍谷大学福祉学部の学生の皆様の前で、朱雀工房の取り組みや、頑張っていることなどを話されました。学生の皆様からの質問に対してしっかり自分の考えや思いを伝えられていました。今後の福祉を担って頂く方々のお力になればと参加した利用者も話しており、このような場でスピーチさせて頂く機会を頂き有り難く感じております。

● お知らせ

定員に空きがあり、
募集しています。



★就労をお考えおられる方

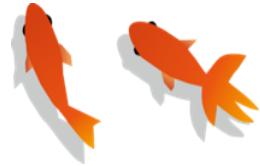
★就労に向けての準備をしたい方

★朱雀工房に興味をもたれた方

是非ご連絡ください。見学も受け付けています



西山高原工作所



近況報告☆彌

暑い季節がやってきましたが、西山高原工作所のみなさんは日々一生懸命作業に取り組んでいます。製品の質も少しづつ向上しており、作業の幅も広がりました。また、新しいメンバーも1名加わり、少しにぎやかな雰囲気に包まれています。

さて、日々お仕事をがんばっておられるみなさんですが、お仕事を忘れて余暇を楽しむ時間も提供したい！というスタッフの思いから、今年は初めて“お出掛けミーティング”なるものを行いました。たくさんの候補を出していただき、決定した行先は…宇治です！6月1日晴天の中、源氏物語ミュージアムに行ったり、平等院の周辺を散策したりしました。また、みなさん普段食べる機会がありそうで意外とない！？本格的な抹茶のスイーツを楽しんでおられました。

そういうわけで、みなさんの感想を少しご紹介します。

* * * * *

- ★普段あまりしない車でのお出掛けが嬉しかった、平等院を見ることができたのもよかったです(Kさん)
- ★宇治でソフトクリームを食べることができてよかったです、平等院で冒険できた(Iさん)
- ★源氏物語に少し触れてよかったです、西方浄土を見て感動した(Yさん)
- ★源氏物語は光源氏の話だと思っていたが、意外と多くの登場人物がいて驚いた(Nさん)
- ★抹茶のスイーツがおいしかった(Tさん)

ご挨拶

4月より常勤としてお世話になっております 神野 瑠里子(こうの るりこ)と申します。私は、社会福祉のなかでも臨床心理学を専攻しており、これまでには教育領域で生徒さんのお話をきいたりするお仕事をしていました。慣れない面もたくさんありますが、自分らしく、できることから頑張っていこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

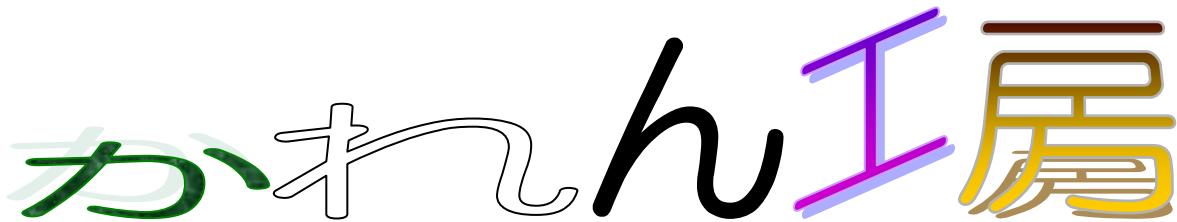
竹内からの提案Σ(・ω・ノ)ノ！

オリジナル名刺を作つてみませんか？お客様と相談しながら進めていきますので、安心してご注文頂けます。また、案内のDMやチラシ、ポスター、会議資料など、その他の印刷も承っておりますのでお気軽にご連絡ください。

075-203-2126 担当：竹内



写真：中林所長がかわいがっているグッピーの赤ちゃん(*'▽')元気に成長してますく^)))彌



☆ かれん工房の近況

この度の大震、西日本豪雨により被害に合われた方々に、心からお見舞い申し上げると共に、一刻も早い復旧がなされますようお祈りいたします。かれん工房では、交通に影響があつた方、親戚宅へ避難された方などはおられましたが、建物等に大きな影響はなく、お陰様ですぐに通常の作業を行うことが出来ました。しかしながら、全国では今尚影響下におられる方々が多数おられます。私たちも災害対策の取り組みを欠かさず、継続して実施していかねばなりません。今後とも皆が安心安全に通える場所であり、この地域で地域の皆さんと共にある為に、精一杯努力していきたいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。(管理者：齊藤)

☆ かれん工房がお花見に行った件

3月30日、お花見レクで二条城へ行つきました！有志のメンバーで二条城への行き方、時間を検討、準備OK。当日の開花情報は8分咲き、天候は晴れ、お花見への期待は高まります。大政奉還の様子を見回りつつ本丸や庭園へ歩を進めます。するとそこには両脇に植えられた満開の桜が！各々写真やビデオを撮りながら和気藹々と見て回られます。場内をグルッと回ったところで疲れた表情もチラホラ、ですがそんな中にもどこか満足そうな表情をされているメンバー達なのでした。

(かれん工房：竹島)

今年の春にレクリエーションで二条城に行って来ました!!二条城と言えば大政奉還が行われた城ですが、今年は明治維新から150年の年なんだな

と思っています。150年前、僕らは「チョンマゲをしていたのかな?」と思うと不思議な感じです。車も無くケイタイも無く、タバコも無く、ビールも無く、からあげも無い時代で、何が楽しかったのだろうと思うと笑いが止まりません。桜が咲いてキレイなお城で色んな思想、考え方を持った人が、このお城を見ていたのだなと思うと、希望の無い現代より熱い時代だったのだなと思いました。そう思うと、現代に生きる、僕たちはこの恵まれた時代を大切に生きないといけないと思いました。150年後も二条城は建っているといいなあ～(メンバー：K.Dさん)



☆ 新メンバー紹介の件

今年の4月から、こちらに通わせていただいています。いろんな作業ができるので楽しいです。苦手な作業もあると思いますが、頑張りますのでよろしくお願いします。(Sさん)

今年の6月からお世話になっております。春ごろに見学に来て実習が始まり緊張することばかりでしたが、皆さん温かく接して頂いているので今では楽しく通所しています。よろしくお願いします。(Tさん)

かれん工房は現在新メンバーを募集しています！作業内容は、配食や清掃、所内作業などです。皆さんご自身の目標に向かって日々取り組んでおられます。下記連絡先までお気軽に一度問い合わせてみて下さいね。見学随時受付中です。

T E L 075-821-7346

F A X 075-821-7347

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」

記録的豪雨

平成 30 年 7 月の記録的な大雨の影響で、京都市内においても、各地区で避難勧告・避難指示が出されました。河川の水位上昇や、土砂災害についてご不安になられた方も多いかったのではないかでしょうか。6 月 18 日には京都市内でも最大震度 5 の地震が発生したばかりもあり、防災に関する意識が高まっていることだと思います。避けようのない自然災害に対して、少しでも人的・物的被害を軽減する減災が重要です。京都市中部障害者地域自立支援協議会においては、災害支援部会で“災害そなえ KYO チェック”を作成しております。避難場所や家族・知人への連絡、持ち出し品や、緊急時連絡カード等を事前に作成しておくものでですので、ぜひご活用頂けたらと思います。



平成 29 年度事業報告

今回は、平成 29 年度「なごやか」「なごやかサロン」の事業報告の概要について、簡単ではあります、ご紹介させていただきます。

(1) 相談支援事業

京都市より、市内 15 箇所の支援センターを対象に、障害者地域生活支援センター（相談支援事業）の機能 ①専門性を持って、質の高い相談支援を行う ②支援困難ケースへ積極的な対応を行う ③地域協議会の運営におけるリーダーシップを發揮するについて、自己評価シートの提出が求められ、自己点検をする機会となりました。また、平成 29 年度から相談支援実績報告とともに個人情報管理状況の報告が求められていますが、未達成項目があり、今後の改善が必要であることを確認しています。支援センターの役割や機能が、明確化・具体化されており、相談支援に対する一定の水準が求められていると感じています。

相談支援実績数値から読み取れることとしては、計画相談や地域相談の契約者に対する継続的な支援が、全体の業務の割合として増えている状況があるように感じます。様々な障害を重複している方の相談件数が増加傾向にあることもわかりました。

平成 29 年 9 月～11 月の間、市より、市内 15 箇所の支援センター職員の横断的な集まりによって、市の自立支援協議会に挙げられた広域課題項目について検討することが求められました。基幹型支援センターを中心に 5 つのワーキンググループが設置され、当センターからも参画しています。

(2) 地域移行支援・地域定着支援事業

京都市地域移行・地域定着支援実務者会議を継続して実施し、病院見学会やピアソーターの講演や事業説明等、医療機関や地域、大学などで普及啓発に努めました。また、厚生労働省の研修や、地域移行の研究会に参加し、全国的な地域移行支援の取り組み状況について把握してきました。実務者会議では、当センターの個別支援ケースも含め、21名の地域移行支援事業利用者、3名の地域定着支援事業の利用者について把握しています。

平成29年度の新たな取り組みとしては、ピアソーター養成講座を実施し、新たなピアソーターを創出したことです。継続した取り組みでは、第二北山病院のOTプログラム、いわくら病院での会議と患者さんとの懇談会、博愛会病院でのレクリエーションや退院に向けたグループへの参加を行っています。

(3) こころのふれあい交流サロン

基礎事業であるサロン運営と、機能強化事業である派遣相談等を継続しています。新たな取り組みとしては、利用者へのアンケート結果をもとに、平成29年8月より月曜日の夕食提供を開始したことが挙げられます。機能強化事業では“支援報告書”的様式が整えられ、関係機関との連携強化について成果があがっています。

(4) 京都市障害者24時間相談体制構築モデル事業（地域生活支援拠点）

平成27年度より始まったモデル事業について、平成29年度も引き続き、登録者の緊急対応プランを作成し、南山城学園と連携を図りながら休日夜間を含めた24時間相談の体制構築に努めました。平成30年4月からは、これまでのモデル事業から本事業化され、京都市全域を対象とした“休日

夜間相談受付センター”が創設されました。本事業における当センターの関わりは、平成29年度をもってひと区切りとなりました。

新任職員の紹介

平成30年度より、こころのふれあい交流サロン「なごやかサロン」に新しい職員が入りました。皆様とともにサロンを運営して参りますので、よろしくお願ひいたします。

H30年4月から、なごやかサロンの専任職員として勤務させて頂いている 今井宇満(いまい たかみつ)と申します。経験不足のためご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。他のスタッフの方々と一緒にサロンを盛り上げていけるよう努めて参ります。

H30年4月から、なごやかサロンのアルバイトとして勤務させて頂いている 吉田 亮(よしだ りょう)と申します。現在、臨床心理士を目指して勉強しております。わからないことが多い、ご迷惑をおかけしてしまうこともあります。一つずつ学び、成長していきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

グループホーム賀陽・山ノ内・光

◆ 大阪北部地震・集中豪雨被害

6月18日（月）7:58に大阪北部を震源とする震度6の地震が発生しました。ホームの固定電話や携帯電話が通じないなか、職員が駆けつけ在宅する入居者の皆様の安否確認を行いました。幸いにも入居者の怪我や家屋への重大な被害はありませんでした。

また6月28日からの集中豪雨では、桂川が流れる右京区で頻繁に避難準備の警報が届き、グループホーム山ノ内では最寄りの小学校に避難所が開設されるまでに至りました。入居者へ避難所の情報提供と、防災情報を常に把握等、必要な対策を行って参りました。幸いグループホームが含まれるエリアは避難を実行する「避難指示の発令」までには至りませんでしたが、避難誘導や薬等の必需品の確保など課題について検討しています。

◆ グループホーム賀陽19年祭

6月23日（土）にグループホーム賀陽の19回目の設立記念をお祝いしました。入居者や職員はもちろんOB・OGや元世話人も駆けつけ、賑やかな会となりました。カラオケで美声を響かせたり、入居者に向けてOB・OGから一人暮らしについてアドバイスしたりする一幕もありました。

◆ グループホーム専門部会

6月20（水）に下京区役所にて本年度の第1回グループホーム専門部会が開催され、新しい事業所からの参加や担当者の変更などがありました。会議の主な内容は平成30年度の障害者総合支援法におけるグループホームに関する変更点について、京都市障害保健福祉推進室から担当者の方を招いての制度説明を行いました。また大阪北部を震源とする地震

の影響について、被害状況等を共有しました。

◆ 一人暮らしへのステップアップ

グループホーム賀陽に約6年4ヶ月お住まいになった方が、7月からアパートで一人暮らしを始めるようになりました。共同生活とは異なる寂しさと、職員が訪問しない少しの不安はあるものの、グループホーム以上の自由のある生活を楽しみつつあるようです。

◆ グループホーム賀陽入居募集！

グループホーム賀陽の入居者が退居したことから、7月9日（月）から8月10日（金）にかけて新しい入居者を募集しています。精神科病院に長期入院されている方、ご家族との同居から一人暮らしの練習を考えている方など、グループホームに対するニーズは様々です。募集要項など詳しくは、お近くの京都市保健福祉センターか、市内の主な精神科医療機関でご確認ください。



◆ 新人職員のご紹介

6月19日から笠井咲乃さんが入職されました。当面は週3日の勤務ですが、グループホーム賀陽の世話人業務も担って下さいます。入居者の皆さんからは、さっそく「ご飯が美味しい！」という声が届いています。今後ともよろしくお願いします。



訪問介護ステーション 光彩

「利用者様にとっての移動支援の大切さ」

訪問介護ステーション光彩 管理者 山下理恵子

訪問介護ステーション光彩では、利用者様が住み慣れた地域でよりよい生活を送って頂くお手伝いが出来ればと、ヘルパー派遣をしております。

利用者様が住み慣れた地域でよりよく変わらぬ生活をと願う一方で、時代と共に変わりゆく地域や制度に合わせていかなければならぬ現状もあります。加齢と共に行動範囲が狭くなり、遠くの店への買物が億劫となり、近所のスーパーのみの買物になってしまうケースが多々あります。近所にスーパーがあればまだ良いかもしれません、近隣の店が閉店したり、引っ越し先の近所にスーパーがなかったり高齢者の買物弱者問題が出てきています。

農林水産省は、住まいの近くに食料品の買物が出来る店がなく、不便を來している 65 歳以上の高齢者を「買物難民」とし、2015 年時点で買物難民は全国で 824 万人にも上ると推計を発表しています。自分で買物に行き、商品を見て選ぶことは脳への刺激にもなり、認知機能低下を防ぐことにも役立つと言われています。自分で買物へ行けなくなると、ご家族やヘルパーさんが買物代行することになり、買物自体の楽しみが減ってしまい、出来ていたことが出来なくなっていく寂しさは、物が手に入ればそれで良しとは言えないと思います。

ヘルパーステーション光彩では、介護保険に切替わられた利用者様が、障害者総合支援法での地域生活支援事業（移動支援）を利用して、一緒に外出、買物同行をしています。全く歩行困難な方は車椅子介助にて買物同行しています。ゆっくりながらも歩行の出来る方は手押し車の利用など工夫され、見守りを兼ね同行しています。皆様、購入される品物は毎回同じ物もありますが、「自分で選んだ結果、また同じ物を購入した」と「買物代行を頼む時に、同じ物しか思い浮かばなかったからそれにした」とでは、同じ物を手に入れたとしても楽しみが違います。好きな物を自分で選択して自分で買う楽しみをいつまでも持ち続けて頂きたいと思いますし、そんなお手伝いができる事を嬉しく感じます。

大好評の恒例研修会「精神に障害のある人たちへのホームヘルプについての研修会～精神に障害のある人たちへのホームヘルプを提供するために～」の日程が決まりました！平成 30 年 9 月 30 日(日)13:30 ～ひとまち交流館京都にて開催します。加藤先生からは、ヘルパーとして発達障害の人への配慮としまして「発達障害のある人の生きやすい社会とは」をご講義頂き、実践報告者として今回は、社会福祉法人京都総合福祉協会 京都市西部障害者地域生活支援センター「うきょう」の杉野裕佳相談員をお迎えし、「障害者地域支援センターとの協働～ヘルパー支援の充実を目指した「うきょう」の関わり～」のお話を頂きます。沢山の方々のご参加を心よりお待ちしております。

今年度は事業所開設 10 年目を迎え、皆様の温かいご支援ご協力を賜りここまで続けてこられたことに心より感謝しております。これからも一意専心努力してまいる所存です。

今後共、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

府 庁 ゆ め こ う ば

暑い日が続いています。テレビでは熱中症のニュースが多くなり、ゆめこうばでも注意して過ごすようにしています。

さて、今月から新しい仲間が増えました！入社してまだ半年も経っていませんが、すっかりゆめこうばに馴染まれた様子で、毎日出勤するのが楽しみだと言われています。支援を受けながらの就労は始めての A さん。ゆめこうばではどんなお仕事をされているのかなど、インタビューをしました。

☺ 新人さんインタビュー ☺



Q1 ゆめこうばの第一印象を教えてください。

上手く伝えられるか分からぬですが『居心地の良い場所』です。

落ち着いた雰囲気で、皆さん穏やかで優しいです。色で表現すると“ピンクやオレンジ”みたいな感じです。

Q2 お仕事ではどんな時にやりがいを感じますか？

1人で作業が出来るようになったときです。また、先輩のやり方を観察して自分で試し成功したときは、新しい知識を身に付けられたことを実感してワクワクします。

Q3 お仕事であった印象的なエピソードを教えてください。

入社してすぐの作業で、封筒を留めるセロハンテープが上手く貼れず、2人の先輩から「セロハンテープの目安表を使つたらいいよ」と声を掛けていただきました。自分のことを考えて声を掛けてくれて、とても嬉しかったです。

Q4 お仕事を始めて変化したことは？

これまで、仕事上の悩みや自分の気持ちを抑えてきました。相談してもいいんだということが理解でき気持ちを解放できるようになりました。

Q5 就労を目指している人たちにメッセージをください。

信頼できる人、障害を理解してくれる人をつくることが大切だと感じています。助けてくれる人を沢山つくって、一般就労を目標に一步踏み出しましょう。



☺ 先輩職員からのメッセージ ☺

平成28年度 2月入社 Bさん

分からないことがあれば積極的に質問されていて、良いことだと思います。

平成29年度 4月入社 Cさん

いつも明るく、華やかな雰囲気をつくってくれて、こちらも楽しく一緒に仕事ができています。

～新人職員紹介～

5月から週2日、ゆめこうばでお仕事をさせていただいている西村直樹と申します。下京区で生まれて、京都から出た事はありません。趣味は、釣りと鉄道部品やグッズ等の収集です。まだまだ、未熟者ですが、よろしくお願ひします。

法人からのお知らせ

相談支援事業所「こうさい」

「こうさい」では当法人の事業所を利用されている方を中心に計画相談支援を実施しています。

5月より新たな相談支援専門員を配置し、職員体制は管理者1名（相談支援専門員と兼務）、相談支援専門員2名の3名体制となっています。

30年度の報酬改定により、モニタリング標準期間の見直しや加算の創設等、報酬に関する仕組みが変わりました。誤りのないよう対応すると共に、引き続き、利用者の方々のサポートに力を注いでいけるよう、心掛けていきたいと思います。これからも宜しくお願ひいたします。

研修委員会報告

京都光彩の会では、年間の研修計画に基づき、隔月で法人全体での研修会を実施しています。防災や虐待防止、法令遵守に関する研修など職務を遂行する上で不可欠な内容から、事業所間交流やワークライフバランス、アンガーマネジメントなど人材育成や働く上での環境整備を目的とした研修も行っています。各委員会がそれぞれのテーマに合わせた研修を企画していますが、現場からの要望を受けて外部講師を招くこともあります。

昨年度になりますが、平成30年1月26日(金)、3月16日(金)の2回に分けて、記録の書き方にに関する研修を行いました。講師に京都府精神保健福祉総合センター相談員の熊取谷晶氏をお招きして、叙述体と要約体の違いや、SOAPに基づく記録方法など基本的な記録の書き方を学んだ上で、二人一組でのロールプレイを行いました。また、個人情報保護と記録の開示請求への対応について

の説明を受け、記録の重要性を改めて確認する機会となりました。

ミレニアムライオンズクラブさんと調理実習をしました

6月5日(火)に京都ミレニアムライオンズクラブのメンバーの方たちと「味わい館」で料理教室を行いました。ライオンズクラブさんがメニューを考えてくださって、材料を準備してくださいました。朱雀工房、西山高原工作所、ワークステーションかれん工房のメンバー、職員、実習生総勢18名が参加しました。

料理が初めてのメンバーもいましたが、わかりやすく手順を説明していただき、材料を切ったり、ゆでたり、ライオンズの方たちと話ながら作りました。

メニューはローストビーフ・海鮮ちらし寿司・おろしそばでした。ローストビーフの作り方を教えてもらいましたが、思ったほど難しくなく、とってもおいしかったです。設備も整っており、またやりたいとの感想が寄せられていました。



ピアサポートの会=OB 会を開催しています

います

京都光彩の会が運営する事業所を利用した OB の方、委託職業訓練修了生を中心にして、互いに近況や得意なこと、心配や気になること、聞いてみたいことなどを話しながら元気になることめざして 3 カ月に 1 回第 3 日曜日午後 1 時半から 3 時まで開催しています。

平成 30 年度になってから 4 月 15 日、7 月 15 日に開催しました。参加者の中から進行と記録の担当者を選びます。自己紹介やみんなに聞いてみたいこと、相談したいことなど、意見交換がスムーズにすすみます。仕事やめたい、残業が多い、気分転換するにはなど、いろいろな話題が出ます。仕事や生活について参考になります。

次回は 10 月 21 日（日）に開催します。

ご案内を送るようにしていますが、案内が届いていない方もどうぞご参加ください。

家族会からのお知らせ

「京のかれん」家族会は、京都光彩の会が運営している事業所を利用している、利用していたメンバーのご家族で構成しています。平成 9 年から家族相互の助け合いと精神保健福祉の向上のために活動を続けています。2 カ月に 1 回例会を開催しています。

今年度役員改選があり、副会長、幹事役員が若返り、和気あいあいと会務をすすめています。

4 月は総会を開催し、6 月は家族の対応についていろいろな工夫を出し合いました。10 月は「からしだねワークス」を見学する予定です。

どうぞお気軽にご参加ください。

社会福祉法人京都光彩の会後援会から お礼とお願い

平素は、社会福祉法人 京都光彩の会 後援会にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

後援会は、社会福祉法人光彩の会が運営する社会福祉事業の発展のためにご協力とご支援をいただくために設けた会です。

年会費は年度毎、下記のようになっております。ご趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- ・個人会員 一口 3,000 円
- ・団体・法人会員 一口 10,000 円

【編集後記】 私事ですが、3 月に子どもが生まれ、初めての子育てに大変ではありますが、幸せを感じる日々を過ごしています。子どものことはそれはもう可愛くて仕方がないのですが、同僚から「親になると、何か変わるものですか？」と質問され、改めて自分自身のことを考えました。自分自身の変化は、大きく 2 つあります。1 つは、自分の人間関係の持ち方や仕事に対する姿勢について見直すことになったことです。ふと気づくと「子どもにはこのような自分がどう映るのだろう？」と思っている自分がいます。もう 1 つは、次世代を担う人の存在を身近に強く感じるようになったことです。たとえ形が変わろうとも、バトンをつなげられる人の存在を感じることは、これから生きていくうえでの励みになります。（山本）

